



世界色々（1～2時間）【中・高学年】



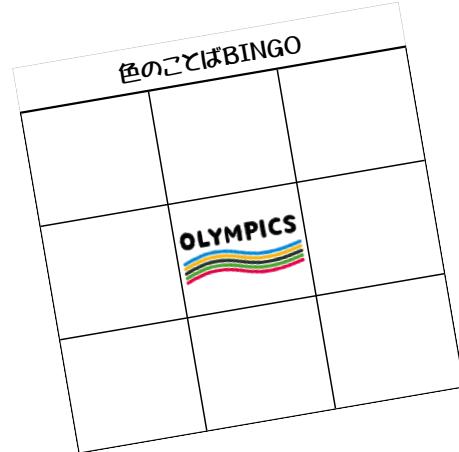
ねらい

色を表す異なる言語の音声や文字に親しんだり、比較したりすることを通して、さまざまな「言語」に対する感性を豊かにする。



準備するもの

- ・授業用パソコン
- ・タブレット
- ・bingoシート(調べた言語で作成する。)



すすめかた

1. オリンピック・リング（五輪マーク）の由来を知る。
2. 色を表す外国語の音声（オリンピックカラーの赤・白・青・緑・黄・黒から選択する。）を聞き、何色か考える。
3. オリンピックカラーの赤・白・青・緑・黄・黒の6色の外国語（英語だけでなく、様々な言語）の音声をグーグル翻訳で調べる。
4. 調べた言語を発音したり、書いたりする。
5. 調べた言語を使って、bingoシート（3×3）を作り、bingoゲームをする。



すすめかたのヒント

- ・1について、オリンピック・リングで使われている5色は、各国・各地域の旗でよく使われている色であることや、それぞれの国・地域によって、色が表している理念が異なっていることを知らせたりすることで、興味・関心を高めるようにする。「東京都オリンピック・パラリンピック教育>児童・生徒向けコンテンツ」

<https://www.o.p.edu.metro.tokyo.jp/children-student>



- ・2について、各色の外国語の音声を聞くときは、児童にとって馴染みのない言語から始めることで、音声をしっかりと聞くことが学習の中心にあることを感じることができるようとする。
- ・3について、調べる言語は、6言語ぐらいまでにする。日本語、英語に加えて、韓国語や中国語などの身近な国の言語や、学級に在籍する外国にルーツがある児童の国の言語を取り上げるようにする。
- ・5について、外国語活動や英語の授業に用いるような各言語の掲示物を提示するようにする。



解説

- ・国際クラブのソンセンニムや、外国にルーツのある児童の保護者と協働的に取り組むことで、アイデンティティーの保持につながる学習活動にことができる。また、友だちにつながる国や地域の文化や習慣に親しむ機会にすることができる。
- ・学級内の外国にルーツがある子どもたちにとって、母語や母国語に触れる機会や文化を知る学習へと広げることができる。